

2021年1月11日発行

第 117 号

エコ・リサ通信

特定非営利活動法人
埼玉エコ・リサイクル連絡会広報

脆弱な循環型社会

NPO 法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会 上領園子

今年の私の課題は『資料の整理』で、長年の活動で溜め込んできた膨大な資料の山を前にしてはどこまでやれるか不安でした。ところがコロナ禍、行事は中止、会議は ZOOM という便利なシステムを使いパソコンの前に居て参加、そこで『資料の整理』は急ピッチで進み廃棄する資料が山になりました。

2019 年の 10 月にダンボール製造会社に見学に行った折、世の中はペーパーレス化が進み材料の古紙が不足気味で今後が心配されるといった話を伺っておりましたので、少しは貢献できるかと思っていました。ところが中国が古紙の輸入を禁止すると途端に古紙の価格は暴落し、行き場を失なった古紙は倉庫にあふれているとか。プラスチックもそうだった。中国が廃プラスチックを輸入禁止にすると回収業者のストックヤードには廃プラでいっぱいになり、これ以上受け入れられないと悲鳴のようなコメントと映像がテレビで流れていました。そして今（2020 年末現在）では古繊維の資源回収は行われていません。

我が国には「社会の物質循環の確保」と「天然資源の消費の抑制」それと「環境負荷の低減」を目的とした『循環型社会促進法』があります。この法律を活かすために「循環型社会促進基本計画」があります。そして、廃棄物の適正処理を促すために「廃棄物処理法」があり、再生利用のために「資源有効利用促進法」があります。それらの法のもとに各物品の特性に応じたリサイクル法ができています。であるのに何故リサイクルされずに外国に輸出されていたのでしょうか。『循環型社会促進法』の 3 つの目的が廃棄されたあとの資源有効利用しか考えられていないことにあると思います。

最近良く耳にしますことに『使用者の責任』です。確かに物を使い消費する者としての責任はあります。例えば、リサイクルできるようにきちんと分別して出す責任はあります。ですけど、同時に生産する者の責任もあるでしょう。容器包装で言えばリサイクル費用の 80%以上を自治体の税金で賄っています。生産者も「資源有効利用」の責任は

あるでしょう。生産者も含めた「資源有効利用促進法」でなければならなかったと考えます。それが無いから処理しきれない量のものが生産され流通していると思われま

整理する資料の中に新聞などの切り抜きも沢山あります、その中に2000年6月の新聞記事に「飲料容器をリターナブル瓶にすると二酸化炭素は78万トン減らせ、処理費は1500億円節約でき埋め立て廃棄物を9割減らせる」と、東大の安井至教授のグループが研究発表し、リターナブル瓶普及の提案をしているのがありました。この研究グループに生活クラブ連合が参加しており、現在生活クラブではペットボトル容器は使わずリターナブル瓶が主で、配達に消費材を纏めて入れるビニール袋も回収しビニール袋に再生し繰り返し利用しています。提供されるトイレットペーパーやティッシュペーパーも再生紙100%です。一生活協同組合が『資源有効利用』を実現できているのに国は20年かけてやっとレジ袋有料化です。世界の先進国の取り組みと比較すればぐんと遅れている日本です。消費者が変われば社会が変わると言われています。さて、私達は？

私たち埼玉エコ・リサイクル連絡会は2001年1月に埼玉県との共催で『提案！21世紀のライフスタイル』と題してこの問題を取り上げています。

2001年8月『容器包装リサイクル法の現状と次期見直しに向けた課題』と題したセミナーが環境省により行われました。それから20年課題はレジ袋の有料化のみ。

この7月に海洋で回収されたプラスチック廃棄物を原料の一部に使ったシューズやTシャツを販売しているお店が渋谷にオープンし、収益事業として成り立っているそうです。



ゴトーグループ
快適な環境づくりのお手伝い。
村岡営業本部 ☎048-537-0555
ゴトーグループ 🔍 検索 <http://www.510goto.co.jp>

税理士法人 T&M ソリューション

毎月第2水曜日は「税の無料相談日」お気軽にお問い合わせください！

お問合せ ☎03-5829-9664 E-mail info@tms.or.jp

人形峠アトムサイエンス館見学記

大前 万寿美

日本で最初にウラン鉱床が発見され、その後の原子力開発に長くかかわることになる岡山県と鳥取県の県境にある人形峠、2020年11月に岡山市内から車で約2時間の場所にあるPRセンターを見学してきました。

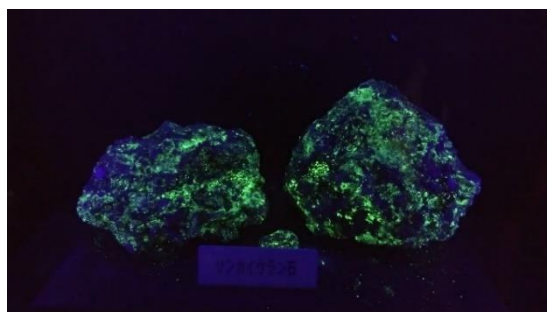
人形峠かがくの森プラザには、岡山県環境文化庁環境企画課が運営する人形峠アトムサイエンス館と国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が古くから運営する資料館が併設されています。



古びた社屋前の駐車場は、山歩きの来訪者の車で9時には満杯になっていました。

1970年の大阪万博で敦賀原発の膨大なエネルギーを使用するようになって以来、私たちは原発との縁を切れずにいます。当時小学校6年生だった私は、夜のスイス館の照明のきらびやかさに心弾ませたことを覚えています。元素記号を覚えるゲームを学習塾で行った際に京大の先生から、人形峠のウラン開発の話聞き、一度現地を訪れてみたいと思いつつ半世紀が過ぎてしまいました。コロナ感染拡大の影響なのかよくわかりませんが、今回はウラン坑道の見学はできませんでした。再度訪れるつもりですので、今回の報告は概要のみといたします。

ちなみに、人形峠のウラン発見の後、岐阜県の瑞浪市でもウラン鉱床が見つかりましたが、人形峠と同様埋蔵量が少なく、日本の原発の核燃料の原料は、ほぼ輸入に頼っています。ちなみに、瑞浪の鉱山跡では、今話題の使用済み核燃料の地層処分の研究が行われていました。実験で300m以上掘った直径6.5mと4.5mの2本の大きな穴は2019年に埋め戻されているようです。



展示してあるウラン鉱石は、紫外線により緑に光っています。

我が国の原子力開発は、1953年（昭和28年）12月、アイゼンハワー大統領が国連総会で行った有名な演説「ATOMS FOR PEACE」の提唱を受け、1955年12月の平和利用を目的とした原子力基本法の制定からスタートします。

ウラン開発の歴史

西日本は、花崗岩の地層が多いため、東日本より地上からの放射能の影響を多く受けていますが、1955年、日本で最初にウラン鉱床の露頭が発見されたのが人形峠、その後ウランの製錬・転換・濃縮等の実用化技術の開発と役務運転が行われてきました。

1996年から2001年まで、ここで1年間に生産された濃縮ウランは、100万kW級の発電用原子炉が毎年取り換える燃料の1.6基分に相当します。施設の運転終了後は、機器内部に付着したウラン化合物（滞留ウラン）の回収に向けた研究開発が行われ、2017年3月までに90%以



上の滞留ウランが回収されています。

商業化を目的として行った研究、運転の成果は青森県六ヶ所村のウラン濃縮工場等に引き継がれ、現在は、ウランを取り扱ってきた機器や設備を解体しながら、ウラン鉱山の閉鎖措置に必要な研究開発を行っているようです。

人形峠付近は紅葉狩りの名所で、散策ができるようになっています。原子燃料サイクルの看板が並んでいます。



岡山県の施設では、各電力会社のPR館に負けな
いくらいの、体験型の展示施設になっています。



参考資料：「ウラン開発と安全対策」企画・発行 岡山県)

社会貢献×食品ロス 災害備蓄食料の活用で SDGs 実践！ - ～ 多くの事業者の登録をお待ちしています ～

埼玉県では、企業が持つ更新を迎える災害備蓄食料を計画的に活用するスキームを構築しました。本スキームは、提供側（事業者）と受領側（フードパントリーや子ども食堂など）が抱える食品の活用に関する課題の解決を目指すものです。

事業者は、簡単な情報の登録で、食品ロスの削減だけでなく、地域の団体とのパートナーシップが構築できます。

災害備蓄食料を活用して SDGs を実践してみませんか。

1 登録から提供までの流れ

① 登録

- ✓ 「いつ」「どこで」「何が」「どのくらい」
- ✓ エントリーシートはWEBから入手できます
- ✓ メール送信で登録完了です



② 登録内容の確認

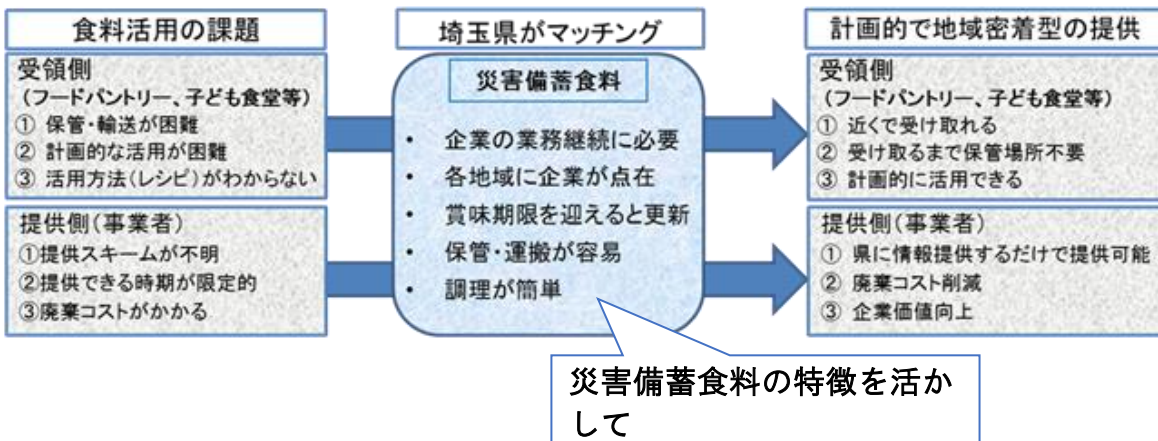
- ✓ 年に1度、登録内容を確認します

③ 受け渡し

- ✓ 更新時期を目安に、活用団体から直接連絡します

2 本スキームのポイント

- ① 多くの事業者が持っている災害備蓄食料を有効活用
- ② 災害備蓄食料の特徴を活かして、計画的で地域密着型の提供を実現
- ③ 提供する事業者、活用する団体が抱える課題をともに解決
- ④ 事業者の食品ロス削減とSDGs実践を促進



3 様々なSDGsのターゲットに貢献



- ① 提供後はフードパントリーや子ども食堂で活用！
県のマッチングで提供相手とのパートナーシップを構築できます。
- ② 提供することで食品ロス削減！
ごみも減って廃棄コストも抑制できます。
- ③ 環境に配慮した地域貢献で企業価値向上！
災害備蓄食料の活用で、SDGs を実践できます。

4 主な活用団体について

① 埼玉フードパントリーネットワーク

県内で、ひとり親家庭や子育て中の生活困窮家庭を対象に食品を無料で配付するフードパントリーという活動をしている団体のネットワークです。

食の支援が必要な家庭に直接食の支援ができ、食品ロス削減に寄与すると同時に、地域で課題を抱えた家庭と顔の見える関係でつながるきっかけとなる活動です。

② 埼玉県子ども食堂ネットワーク

県内の子ども食堂運営者から構成されています。コロナ禍の現在は、一か所に集まってご飯を食べることができず、【笑顔応援企画】と題して、お弁当配布や食材配布など、知恵を出して取り組んでいます。



フードパントリーでの配布



子ども食堂での活用(令和元年7月撮影)

オーガニックを選ぼう！

最近、ワイン売り場でオーガニックを表記している商品が増えてきています。ぶどう栽培では、農薬がたくさん使用されていると聞いていたので、世界の流れが少しずつ変わってきたのかなと嬉しく思います。

綿花栽培には大量の化学肥料と農薬が使用されてきました。一説には大人用 T シャツ一枚を生産するのに、150g もの農薬が使用されているとの話もあります。最近では、オーガニックの子ども衣料、タオルなども、入手しやすくなってきました。衣料品購入の際は、マイクロプラスチックのもとになるフリースなどは避け、オーガニック Cotton の製品を購入しましょう。

消費者の選択が変われば社会が変わる。しっかり環境に配慮した製品を選ぶ力をつけて、行きたいですね。



(グリーンコンシューマー委員会 大前万寿美)



一般
社団法人 繊維リサイクル協会

<http://tera-jpn.or.jp/index.html>



www.chinrai.co.jp



読売旅行

読売旅行「あなたの街から」いい旅 いつも これからも

☎03-6859-4343 FAX : 03-6859-4433

2021年 交流集会のご案内



市民と行政がともに学ぶ
エコ・リサイクル交流集会2021

Withコロナと環境問題 ～今、何が起きているのか～

＜日時＞2021年2月6日（土）

13時15分～16時30分（受付13時～）

＜会場＞大宮ソニックシティビル 4階市民ホール 401集会室

＜参加費＞無料 ＜定員＞会場参加40名 ZOOMでの参加50名

コロナ禍の古着回収、約一年を振り返って現状を報告

レジ袋有料化の影響は？店舗へのアンケート調査報告

子ども食堂の今は？現状と課題

省エネにつながる家庭菜園づくり

司法書士竹内啓修事務所

お問合せ ☎048-963-6055 不動産・商業登記全般

編集後記:今年コロナのため、研修見学会は中止となってしまいました。

そして早くも2021年NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 交流集会のご案内です。

“2030年までに達成すべき17の目標”を掲げているSDGs（持続可能な開発目標）ですが、認知はイマイチな感じ。コロナに負けず、取り組まねばです。

轟 涼